

事前評価チェックシート

計画の名称： 下田市における下水道施設の地震対策重点計画（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月18日

計画の名称	下田市における下水道施設の地震対策重点計画（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	下田市												
計画の目標	下田市下水道施設の災害時における最低限の処理機能の保持を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	56	A	56	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下田市下水道施設（ポンプ場）の耐震化済施設数を2棟から3棟に増加。 下水道施設総合地震対策事業 耐震化済施設（棟）/施設数（3棟）	H31当初 2棟	棟	H31末 3棟

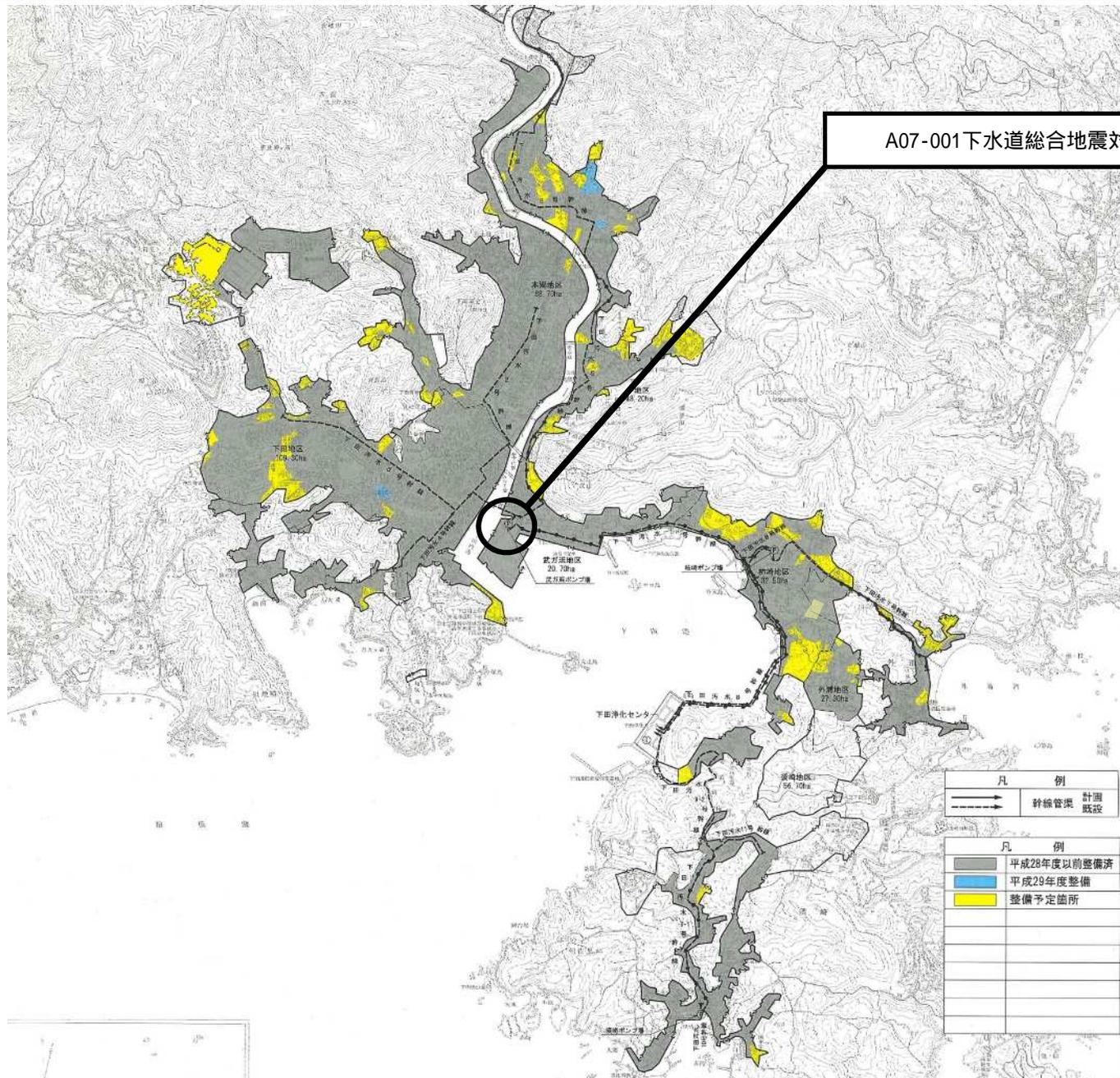
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	下田市	直接	下田市	-	-	下水道総合地震対策事業	ポンプ場(武ガ浜ポンプ場)の 土木躯体等耐震化	下田市						56		策定済
											小計						56		
											合計						56		

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	下田市における下水道施設の地震対策重点計画 (防災・安全)		
計画の期間	平成31年度 ~ 平成31年度 (1年間)	交付対象	下田市



A07-001 下水道総合地震対策

凡 例	
	幹線管渠 計画
	幹線管渠 既設
凡 例	
	平成28年度以前整備済
	平成29年度整備
	整備予定箇所